

社団法人 日本ボディビル連盟
平成19年度 臨時総会議事録 (抜粋)

- ◇ 日 時 平成19年10月7日(日) 午後3時から開会
- ◇ 場 所 日本青年館 アルデ
- ◇ 会長挨拶

お忙しい中ご出席いただき心よりお礼申し上げます。日本ボディビル連盟の行事も残すところ明日の日本選手権、男子世界選手権、世界マスターズ選手権となりました。
お陰様で今年の国際大会は8月に集中し、暑い盛りに役員・選手の皆さんには大変ご苦勞されましたけれども、日本で初めて山口県で開催しました東アジア選手権大会では、加盟国6カ国、参加者85名の中で日本選手は金メダル12個、銀メダル8個、銅メダル3個という空前の好成績を獲得したのは御承知の通りと思います。その勢いで上海で行われたアジア選手権に臨んだのですがアジアでは中東、旧ソ連勢もいるその中で、銀メダル3、銅メダル3個を獲得しました。今後競技スポーツとしてメダルをより獲得していくには選手強化がどうしても必要と監督以下役員が感じました。若いうちから養成していくというジュニア層の拡大と強化が今後の問題点として、高等学校体育に働きかけていく。昨年より高校選手権を行っており、今年も明日午前中に高校選手権、ジュニア選手権を開催しますが学校体育の中にボディビル競技の良さとウェイトトレーニングというものの必要性を認識してもらうように働きかけていきたい。というわけで日本連盟の組織の強化、拡大のために皆さんと検討していきたい。
理事会でも検討いたしましたが、総会でも皆さんのご意見を受け賜ってボディビルというものがますます評価され、普及拡大していくために宜しくお願い致します。

- 議長選出 定款22条により、議長は玉利齊会長を選出。
- 定足数の確認 正会員総数59名。本日出席正会員30名、委任状による出席正会員26名、合計出席正会員56名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】平成19年度前期事業報告

1. 国内事業

- (1) 第11回日本クラス別ボディビル選手権大会
主 管:神奈川県ボディビル連盟 実行委員長:青田正順 神奈川県連盟理事長
開催日:平成19年6月24日(日) 会 場:海老名市文化会館
以上、実行委員長の青田正順神奈川県連盟理事長より報告があった。
- (2) 第12回オールジャパンミスフィットネス選手権大会
主 管:広島県ボディビル連盟 実行委員長:金澤利翼 広島県連盟理事長
開催日:平成19年8月26日(日) 会 場:広島県民文化センター
- (3) 第1回オールジャパンミス・ボディフィットネス選手権大会
主 管:広島県ボディビル連盟 実行委員長:金澤利翼 広島県連盟理事長
開催日:平成19年8月26日(日) 会 場:広島県民文化センター
以上、中国四国ブロック代表の栗井直樹理事より報告があった。
- (4) 第15回日本女子新人ボディビル選手権大会
主 管:日本社会人ボディビル連盟 実行委員長:五十嵐清四郎 日本社会人連盟理事長
開催日:平成19年9月1日(土) 会 場:品川区 きゅりあん
- (5) 第7回ミス21健康美大会
主 管:日本社会人ボディビル連盟 実行委員長:五十嵐清四郎 日本社会人連盟理事長
開催日:平成19年9月1日(土) 会 場:品川区 きゅりあん
以上、実行委員長の五十嵐清四郎日本社会人連盟理事長より報告があった。

- (6) 第18回ジャパンオープンボディビル選手権大会
 主 管:岡山県ボディビル連盟 実行委員長:栗井直樹 岡山県連盟理事長
 開催日:平成19年9月9日(日) 会 場:岡山市民会館
- (7) 第24回ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会
 主 管:岡山県ボディビル連盟 実行委員長:栗井直樹 岡山県連盟理事長
 開催日:平成19年9月9日(日) 会 場:岡山市民会館
 以上、実行委員長の栗井直樹岡山県連盟理事長より報告があった。
- (8) 第19回日本マスターズボディビル選手権大会
 実 行:JBBFマスターズ委員会 実行委員長:磯村俊夫 マスターズ'委員会委員長
 開催日:平成19年9月23日(日) 会 場:江戸川区総合区民ホール(タワーホール船堀)
 以上、吉田進副会長より報告があった。

【審査結果は、ホームページ「選手権大会入賞者」を参照】

2. 国際事業

- (1) 第3回東アジアボディビル選手権大会
 開催日:平成19年8月2日～6日 会 場:日本 山口市
 監督 栗井 直樹 日本ボディビル連盟理事
 コーチ 小沼 敏雄 日本ボディビル連盟選手強化委員
 選手参加人数: 85 名
 以上、監督の栗井直樹理事より報告があった。

- (2) 第6回日韓親善ボディビル選手権大会
 開催日:平成19年8月21日～24日 会 場:韓国 ソウル
 監督 青田正順 日本ボディビル連盟理事
 コーチ 栗原信行 日本ボディビル連盟正会員
 以上、監督の青田正順理事より報告があった。

- (3) 第41回アジア男子ボディビル選手権大会
 第24回アジア女子ボディビル選手権大会
 第20回アジア男子ジュニアボディビル選手権大会
 第9回アジア男子マスターズボディビル選手権大会
 第9回アジアミスフィットネス選手権大会
 第4回アジアミスボディフィットネス選手権大会
 第1回アジア男子フィットネス選手権大会
 開催日:平成19年8月28日～9月3日 会 場:中国 上海
 参加国数:25カ国 出場選手数:186名
 役員 玉利 齊 日本ボディビル連盟会長
 役員 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長
 監督 藤原達也 日本ボディビル連盟副会長
 コーチ 天童曹耀 日本ボディビル連盟競技運営委員
 女子コーチ 廣田ゆみ 日本ボディビル連盟正会員

【審査結果は、ホームページ「選手権大会入賞者」を参照】

以上、大会結果について藤原達也監督より報告があり、次に、玉利齊会長ならびに吉田進副会長よりアジア連盟総会について以下の内容が報告された。

アジア総会内容

- ① 新規加盟国2カ国(ネパール、ウズベキスタン)
- ② 男子ボディビルの種目に100kg級が新設された
- ③ 男子クラシックボディビルが来年度より行われ、女子のボディフィットネスと同時に行う
- ④ 東アジアボディビル選手権大会がモンゴルで開催
- ⑤ アジア(男子、女子、ジュニア、マスターズ、フィットネス、ボディフィットネス、クラシックボディビル)全種目が香港で開催(7月17日～21日)
- ⑥ 第1回アジアビーチゲームズ(OCA公認大会・アジア競技大会を分解した小型版)がインドネシアのバリにて開催(10月19日～21日) JOCはアジア競技大会に補助して派遣しているが来年度よりビーチゲームズにも補助が内定している
- ⑦ 男子世界選手権大会がバーレーンで開催(11月2日～7日)
- ⑧ 役員改選でカタールの会長が辞任して、UAEボディビル連盟会長がアジアボディビル連盟の会長に就任。

(4) 2007年女子世界ボディビル&フィットネス選手権大会

開催日:平成19年9月19日～25日

会場:スペイン サンタスサナ

参加国数:45カ国

出場選手数:176名

監督 五十嵐清四郎 日本ボディビル連盟正会員

コーチ 大垣純子 日本ボディビル連盟選手強化委員

以上、監督の五十嵐清四郎正会員より報告があった。

【第二号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ なし
2. 退会クラブ

(1) 山梨県連盟	オリエントヘルスクラブ	細田敬二代表	退会
(2) 鹿児島県連盟	くしきのトレーニングセンター	川添重孝代表	退会
(3) 東京連盟	ODAGIRIトレーニングジム	小田切久美子代表	退会

以上、第二号議案は全会一致で承認。

【第三号議案】 規程の改定について

ドーピングテスト実施規程 改正(案)

【ホームページ「規程」参照】

以上、第三号議案は全会一致で承認。

【その他】 運営に必要な事項の検討及び報告

1. 日本ボディビル連盟主催大会立候補について

(1) 第12回日本クラス別ボディビル選手権大会	7月13日(日)	福岡県 飯塚市
(2) 第19回ジャパンオープンボディビル選手権大会	8月3日(日)	静岡県
(3) 第23回ジャパンミックストピアボディビル選手権大会	8月3日(日)	同上
(4) 第16回日本女子新人ボディビル選手権大会	8月17日(日)	品川区立総合区民会館
(5) 第8回ミス21健康美大会	8月17日(日)	同上 (きゅりあん)
(6) 第13回オールジャパンミスフィットネス選手権大会	8月17日(日)	同上 (きゅりあん)
(7) 第2回オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会	8月17日(日)	同上 (きゅりあん)
(8) 第20回日本マスターズボディビル選手権大会	9月28日(日)	江戸川区タワーホール船堀
(9) JOCジュニアオリンピックカップ		
第20回日本ジュニアボディビル選手権大会	未定	
(10) 第3回全国高等学校ボディビル選手権大会	未定	
(11) 第54回男子日本ボディビル選手権大会	未定	
第26回女子日本ボディビル選手権大会	未定	

(12) 西日本大会、東日本大会の開催承認

- | | | |
|--------|----------|----------------|
| ①西日本大会 | 8月31日(日) | 兵庫県民会館 |
| ②東日本大会 | 9月15日(月) | 宮城県仙台市若林文化センター |

以上、2008年度大会予定が報告され、承認された。

2. 日本ボディビル選手権大会実行委員会について

日本選手権大会はJBBFの最大のイベントとして開催されている。オーバーオールの日本選手権は東京、大阪、隔年で交互に行うということは40年来の慣例になっている。このいきさつは全日本ボディビル協会(大阪)と日本ボディビル協会が合併したのが現在の日本ボディビル連盟であり、そしてその時にミスター日本は隔年に東京、大阪交互にやろうということで継続してきた。主催は日本連盟、東京で開催する時は東京連盟に協力してもらい、大阪では大阪連盟に協力してもらうことが慣例で行ってきたが、今回の東京で行われる日本選手権は日本連盟の実行委員会を組織して東京だけでなく関東の各連盟や社会人連盟に協力頂き、開催することとなった。これは日本選手権というJBBF最高の大会をより広く共有の意識を持って頂き、皆で盛り上げるという立場から前回の総会で決定された。実行委員長には藤原達也副会長、副委員長には関東選出の青田正順理事、会長補佐の磯村俊夫氏にて組織されたことが報告され、また、青田正順副委員長より日本選手権大会の各役員とともに作成された運営マニュアルが提示され説明された。

3. JADA規程とJBBF選手登録制度との整合性について

ドーピングテストが選手登録をしていない年にJADAの抜き打ち検査を選手に拒否された為、JADAとの整合性をとる為に青田正順アンチドーピング委員会事務局長より以下の通り説明があり承認された。

- ① JBBF登録選手は退会届けを提出しない限りJBBF所属選手と見なす。
- ② 従ってJADA規程によるドーピングテストは選手登録の有無に関係なく受ける義務がある。
- ③ 加盟登録をした以上その年度の登録選手でなくても退会するまではJBBF所属選手である。

4. フィットネス選手とボディフィットネス選手の大会出場資格について

- ① 両種目の大会出場選手は、JBBF公認クラブ所属の登録選手以外でも出場を認める。
 - ② 但し出場申込時に参加費と登録費をJBBFに納入する。
- 以上が承認された。尚金額、参加費(出場制)、登録費は執行部一任された。

5. 一般会員と正会員の登録制度を再検討

普及愛好者数を増やさなければならない(JOC団体)社会状況の変化の中でどうやってそれに適応していくか、細目は執行部会で検討する。

6. 日本ボディビル連盟の名称変更について

IFBBでは名称はボディビル&フィットネスとなり、新たにフィットネスという言葉を入れている。日本連盟でも名称を(社)日本ボディビル・フィットネス連盟としてはどうか。フィットネスという名称を入れることを諮ったところ全員が賛成した。但し名称は文部科学省と定款の変更が必要なので今後折衝していくこととなった。

7. 指導員登録システムの変更について

現在2年ごとに登録費5,000円 → 今後毎年3,000円とする。
上記の規程の変更が承認された。

【ホームページ「規程」参照】

8. 学連OBクラブの設立について

若年層へのボディビル普及と振興が最重要な課題と思われる。連盟はすでに40年の歴史のある全日本学生ボディビル・パワーリフティング連盟と連携してその活動を協力支援する為に日本ボデ

イビル連盟内に学生ボディビルOBクラブを発足させる案が提出された。事業の方向性は第一として学生ボディビル選手権大会への支援協力、第二に日本選手権(ジュニアも含む)への出場、第三に世界アジアジュニア選手権大会への派遣の方向性が示され、設立が承認された。

9. 高齢者の指導者資格要件について

茨城県より高齢者への指導者資格を日本連盟が与えてはどうかとの提案が出された。この資格については医療、福祉の分野であり国家資格の内容でもあるので審議したが、今後の方向は日本連盟の医科学委員会にて検討することとなった。但し各県連の内部で有資格のボディビル指導者が高齢者にトレーニング指導を行うことは問題ないことが表明された。

10. 2016年東京オリンピック開催への協力要請について

東京都より要請があり日本ボディビル連盟はJOCの加盟団体でもあり協力することが承認された。

11. 審査委員会より、国際大会では予備審査で15名を選びその15名に順位をつけてファイナルの6名を選んでいる。その6名は予備審査の結果を反映させない方法で行われており、JBBFも2008年度日本クラス別選手権よりIFBBの審査基準と合わせて実行することが承認された。なお、審査ソフトの変更を行うことも承認された。

以上で総会は閉会した。